

徳島県企業局経営計画（改定案）について

1 改定の趣旨

本格的な人口減少社会に直面する中、
2050年カーボンニュートラルの実現や頻発化・激甚化する災害への対応、
電力システム改革の進展、新型コロナウイルス感染症対策などの
公営企業を取り巻く社会経済情勢の変化に的確に対応するため、
現計画の中間年である今年度に計画の改定を行う。

2 計画期間

平成29(2017)年度から令和8(2026)年度までの「10年間」を計画期間とする
現計画を引き継ぐものとし、令和4(2022)年度からの後半5年間を改定する。

3 改定の方針

経営理念である「企業の経済性の発揮」と「公共福祉の増進」を念頭に、
既に完了した取組項目の削除や拡充を行うとともに、次の視点を盛り込む。

- (1) 世界的な課題となっている「脱炭素社会」の実現や
水力や太陽光などの「多様な自然エネルギー」を活用した効果的な施策を展開
→ **「GX(グリーントランスフォーメーション)」の推進**
- (2) コロナ禍により社会行動やシステムが大きく変容する状況のもと、
先端技術を積極的に活用した業務の効率化を推進
→ **「DX(デジタルトランスフォーメーション)」の実装**

4 経営目標

社会貢献の加速

「自然エネルギー導入の加速」、「地方創生」、「環境保全」、「交流促進」などの
様々な分野と連携した社会貢献の加速

安全安心の確保

平時・災害時の両面での「安全安心で安価・良質なサービス」の提供


経営力の強化

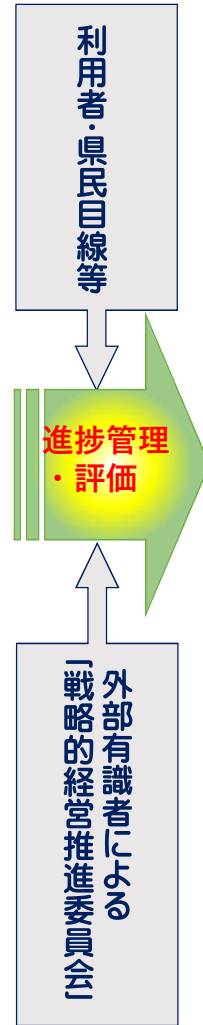
社会環境が大きく変化する中、「人材育成」や「資源の有効活用」、
戦略的な「収益増と効率化」による経営力の強化

5 今後の予定

- | | |
|----|--------------------------------|
| 2月 | 県議会県土整備委員会で「徳島県企業局経営計画（改定案）」報告 |
| 3月 | 「徳島県企業局経営計画」の改定 |

徳島県企業局経営計画（進行管理表）の改定について

改定方針	経営理念である「企業の経済性の発揮」と「公共の福祉」を念頭に「GX」、「DX」の新たな視点を織り込むとともに、既に完了した取組項目の削除や移行						
	経営目標	計画を実現させる取組	工程（年度別事業計画）				
		R4	R5	R6	R7	R8	
社会貢献の加速 (項目数: 現14→新16) 	拡充 市町村と協働した小水力発電の導入支援	チーム体制による導入支援 2件以上/年					
	新規 地域資源に着目した民間事業者等への自然エネルギー導入支援	先進的な導入事例調査 情報発信 2件以上/年					
	拡充 カヌー・SUPの拠点施設の有効活用	1回以上	ツーリズム催行回数 4回以上/年				
		20人以上	ウォータースポーツ体験者数 100人以上/年				
	新規 水素をはじめとする多様な自然エネルギー学習機会の提供	体験者数(バーチャル含む) 18,000人	18,300人	18,600人	18,900人	19,200人	
拡充 ICTを活用した出前授業の実施 等	eブック制作	活用 出前授業 15回以上/年					
安全安心の確保 (項目数: 現15→新11) 	拡充 工業用水道管路の耐震化(第2次管路更新計画)の推進	調査・設計・用地			20%完了	40%完了 優先度評価	
	新規 日野谷発電所大規模改修による長寿命化・強靱化対策の実施	構築物現状診断	概略設計 発注準備	概略設計			
	新規 AI・IoTを活用した点検業務のスマート化	坂州・川口 発電所	勝浦発電所	吉野川北岸 工業用水道	阿南 工業用水道	実装・活用	
	拡充 災害時の電力供給等、防災・事故復旧訓練の実施 等	訓練 3回以上/年					
経営力の強化 (項目数: 現22→新26) 	新規 日野谷発電所大規模改修に合わせた出力の増強	構築物現状診断	概略設計 発注準備	概略設計			
	拡充 川口・勝浦発電所の発電能力の最大限活用	川口 関係機関との協議 可能性の検討	調査・ 手続き	運用			
		勝浦 関係機関との協議	調査・検討				
	新規 売電収入の安定的な確保	情報収集 及び検討	入札の 仕様決定	入札・契約	新契約の検証 及び見直し		
	新規 藍場町地下駐車場へのAI・IoT導入による機能向上	車番認識 システム導入	運用				
新規 民間ノウハウを活用した駐車場サービスの向上 等	指定管理 更新	指定管理 新更新期間(R5~R9)					



脱炭素社会の実現と地方創生の推進!



合計項目数
現 51 → 新 53

「『徳島県企業局経営計画』の改定」に係るパブリックコメント実施結果

令和3年12月17日（金）から令和4年1月17日（月）までの間、オープンとくしま・パブリックコメントを実施したところ、9名の方から20件の御意見をいただきました。
御意見の概要と県の考え方は、次のとおりです。

番号	いただいた御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
1	<p>小水力発電は、ダムのような河川の大規模開発を伴わない環境負荷の小さいクリーンな発電事業と認識しています。 自然の河川や農業水路などに簡易に設置することが可能であり、低コストの製品が普及し地域の電力源としての活用を期待しています。</p>	<p>自然エネルギーによる電力自給率向上をはじめ、地域の自立・分散型電源としても、環境負荷の小さな小水力発電の普及促進は大変重要と考えています。今後も市町村や関係機関からの情報収集や技術開発の動向に注視しながら導入促進に努めて参ります。</p>
2	<p>川口ダム湖で東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプが行われました。 一過性に終わることなく、一般の者でもウォータースポーツを体験して滞在できるような事業を期待しています。 また、ダムを地域のシンボルにして、にぎわいの創出を図り、地域経済を潤してほしいと考えています。</p>	<p>川口ダム湖でドイツ・カヌー代表チームが事前キャンプを行った「東京オリ・パラ・レガシー」を継承し、ダム湖周辺の「交流人口の拡大」を図るため、新たなウォータースポーツの拠点を整備するとともに県南地域を含めたニューツーリズムを創出することにより、地域のにぎわいづくりに取り組んで参ります。</p>
3	<p>企業局がどんな事業を行っているのかあまり分からないし、知っている人も少ないと思うので、経営計画に対しても意見しにくいと思います。企業局や取組について県民が分かるようにもっと情報発信していくべきだと思います。</p>	<p>企業局事業については県のポータルサイトの活用をはじめ、マスコミへの情報提供やYouTubeへの動画投稿、SNSの活用等により、様々な媒体を通じて周知しております。また、企業局の認知度を高め、取組に関心をもっていただけるよう、今年度、PR動画を制作しております。 今後も一層の情報発信に努め、企業局の認知度向上を図って参ります。</p>
4	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により電気など社会生活に不可欠なライフラインの安定的な維持確保が大切になっていると考えています。万全の備えをお願いします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大や発災時等、いかなる状況下においても業務継続を確実なものとするため、発電施設、工業用水道施設の強靱化はもとより、Webカメラによる映像監視やDXを活用した保安業務のスマート化を推進することにより、業務の効率化や災害時の対応力強化を図って参ります。</p>

番号	いただいた御意見の趣旨	御意見に対する県の考え方
5	<p>和歌山市紀の川にかかる水管橋の一部が崩落して断水事故が発生しました。</p> <p>市町村とも連携して日常の点検、耐震診断や耐震改修、ドローンの活用や遠隔監視など最先端の技術で安全対策を講じてほしいと考えています。</p>	<p>企業局の保有している水管橋については、河底横過トンネルへの切替および落橋防止対策を実施しており耐震化対策を行っております。また、目視点検による日常巡視に加え、ドローンや水中ドローンの活用、さらには、DXを活用した保安業務のスマート化を推進することにより、設備状態の把握と、事故の未然防止にしっかりと取り組んで参ります。</p>
6	<p>藍場浜公園の地下駐車場は、コロナによる阿波踊りや公園内でのイベントの中止、そごうの閉店によって、利用者が減少していると思います。加えて、今後新しい文化ホールができればあわぎんホール利用者もいなくなってしまうと思います。税金の無駄使いとならないよう、利用者ニーズに合わせた維持管理や改修に期待します。</p>	
7	<p>駐車場事業の2020年度収益が大幅に減少したことが印象に残っています。</p> <p>新型コロナウイルスの影響や徳島駅周辺も様変わりしているので、大変難しい状況ではありますが、最先端の技術を活用して時代に即した事業経営を進めてほしいと考えています。</p>	<p>企業局では、安全で快適な駐車場を実現するため、藍場町地下駐車場の設備更新にあたり、DXを活用した「車番認識システム」の導入を検討し、チケットレスやキャッシュレスなど利用者のサービス向上に繋げるとともに、維持・管理の省力化によるランニングコストの縮減を図って参ります。</p>
8	<p>チケットレスをあわぎんホール近くの地下駐車場に導入してはどうでしょうか。チケットの用紙削減やチケット紛失のトラブル解消、スムーズな入出場につながるのではと思います。ご検討ください。</p>	
9	<p>P6の「SNS」の注意書きのように、P18の「BCP」にも注意書きを加えてはどうですか。</p>	<p>ご提言いただいたとおり、次の文言を追記いたします。</p> <p>※BCP：業務継続計画 重大な事故・危機事象が発生した際に備え、あらかじめ優先的に実施すべき業務を特定し、その執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等を定めたもの</p>